

建物保護ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

明治四十二年三月十六日(火曜日)午後一時十八分開會

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 御揃ヒノヤウデゴザイマスカラ、前會ニ續イテ是ヨリ開會イタシマス、前會ノ節、御苦勞御面倒ノコトヲ御願ヒシマシテ……即チ此特別委員會諸君ニ御願ヒシマシテ、修正案ノ件ニ付キマシテ大分毎日御寄合デ色々御骨折デ御苦勞デゴザイマシタ、其御寄合ノ結果ヲ此際御報告ヲ、ドナタカラカドウゾ御願ヒシマシマス

○富井政章君 前會ニ於キマシテ高木、石渡兩君、竝ニ私ノ三人ニ此案ノ調査ヲ御委託ニナリマシタ故ニ、我々ハ其後政府委員兩君ニモ臨席ヲ請ウテ長時間熟議イタシタノデゴザイマス、先ヅ地震賣買ノ弊害ヲ防グ爲ニ設ケラレタ第一條ニ付イテ協議シマシタガ、ドウカシテ此弊害ヲ矯メタイト云フコトニ付イテハ皆同意見デアリマシタ、唯建物ノ保存登記サヘアレバ地上權又ハ賃借權ノ登記ナクモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルト云フ原案ハ、民法ノ大原則ニ違フテ如何ニモ好マシクナイ規定デアリマス、故ニ何トカシテ之ニ代ルベキ良法案ヲ得タイト思ヒマシテ種々攷究ヲ盡シタノデアリマス、若シ借地一方ノ申請ニ依ッテ登記ヲ爲スコトヲ得ル途ガアルナラバ最モ簡便ナル方法デアリマスケレドモ、如何セン登記ノ材料トナルベキ書面ハ借地人ノ手ニ存セザル場合ガ多イデアリマス故ニ、是ハ到底實際ニ行ハルベキ方法デアリマセヌ、建物ノ登記ノ申請アル場合ニ登記官吏ガ職權ヲ以テ借地權ノ登記ヲ爲スコトニシテハドウカト云フ考ヘモ起シテ見タノデアリマスガ、是亦同一ノ理由ニ依ッテ甚ダ困難ト考ヘタノデアリマス、或ハ登記ナキモ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルトスルニ代ヘテ第三取得者ガ土地ノ明渡シヲ求ムル場合ニハ相當ノ代價ヲ以テ建物ヲ買取ルカ、又相當ノ移轉料ヲ拂ハネバナラヌト云フコトニ規定シテハドウカトモ考ヘマシテ、其趣意ノ修正案ヲモ書イテ見タノデアリマス、併シ之ニ付イテ種々困難ト疑問ガ起ッタノデアリマス、斯ク致シテモ結局、一種ノ方法ニ依ッテ登記ナキ借地權ヲ對抗スルコトニナルデアッテ、タダ文字ニ其コトヲ現ハサナイト云フダケノコトニ過ギナイ、又善良ナル第三取得者ニ取ッテハ隨分重イ負擔トナルノデアリマス、加之斯ノ如キ規定ヲ設ケレバ獨リ土地ヲ讓受ケタル者ニ對シテノミナラズ土地ノ所有者ガ變ナイ場合ニモ適用スベキ規定トシテ其當否ヲ決定スベキ問題デアルト考ヘマス、決シテ地震賣買ノ場合ニ限ルコトデアナイト思フノデアリマス、從ッテ地震賣買ノ防遏策トシテハ適當デアナイト考ヘタノデアリマス、結局第一條ニ代ルベキ良法案ハ遂ニ發見スルコトヲ得ナシタノデアリマス、依ッテ甚ダ好マシクナイ規定トハ思ヒマスケレドモ第一條ダケハ先ヅ原案ヲ存スルコトニ決シタノデアリマス、次ハ第二條ノ規定デアリマスガ、是ハ法律ヲ以テ地上權ノ最短期ヲ一定スルコト、賃借借ノ期間ガ滿了スル場合ニ、賃借人一方ノ意思ヲ以テ二十年ニ達スルマデ其期間ヲ更新スルコトヲ許スガ眼目デアリマス、即チ賃借借ニ付イテハ當事者一方ノ意思ヲ以テ契約ノ條件ヲ變更スルコトヲ許スト云フ思ヒ切ツタ規定デアリマス、此規定ヲ置カレタ趣意ハ畢竟薄情ナル地主ガ短イ借地期間ノ滿了ニ際シテ不當ノ値上ヲ爲スタメニ借地人ニ立退キヲ迫ル弊害ヲ防グガ爲デアリマス、是モ誠ニ尤モナルコトトハ思ヒマシタ、併ナガラ是ハ大ニ考ヘネバナラヌ點デアッ

テ、偶々少數ノ地主ガ斯ノ如キコトヲ行フカラト云ウテ、一般ノ原則ト慣習ヲモ顧ミシテ當事者ノ契約關係マデモ變更スルガ如キ規定ヲ設ケルコトハ如何デアリマセウカ、全國一般ニ通ジテ考ヘテ見マスニ、多數ノ地主ト借地人トノ間ニハ今日ト雖モ尙ホ德義ノ連鎖ニ依ッテ圓滿ナル關係ガ保タレテ居ルコト考ヘマス、然ルニ今急ニ斯ノ如キ干涉の規定ヲ設ケルコトハ、果シテ得策、且ツ必要デアラウカ、大ニ疑フ所デアリマス、或ハ之ガ爲ニ地價ノ低落ヲ來スタヤウナコトガアルカモ知レヌ、或ハ又相當ノ値上ヲ行フコトガ困難ナル結果ヲ來タスカモ知レヌ、要スルニ其利害得失ニ付イテハ尙ホ實際ノ情況ヲ調査シテ大ニ攷究スベキ問題デアルト考ヘマスニ依ッテ、第二條ノ規定ハ寧ロ之ヲ設ケザル方ガ宜イト云フコトニ一致シタノデアリマス、然ラバ此條ハ全ク削除スルカ、ツレトモ何カ之ニ代ルベキ規定ヲ置クベキカト云フコトニ付イテ、我々ハ更ニ攷究イタシマシタ、一

二ノ修正案モ起草シテ見タノデアリマス、即チ土地ノ明渡シヲ求メラレバ借地人ハ或ル制限ノ下ニ建物ノ買取又ハ移轉料ヲ請求スルコトヲ得ルト云フヤウナ案ヲ作リマシテ一旦ハ之ヲ採ルコトニ傾イタノデアリマスガ、サテ其適用ノ範圍ヲ定ムルニ付イテ種々困難ヲ感シタノデアリマス、例ヘバ其建物ノ買取又ハ移轉料ノ仕拂ヲ請求スルニハ一定ノ期限ガ無クテハナラヌト思ヒマス、何十年ヲ經過シテモ其請求ヲ爲ス權利ガアルスレバ借地契約アル毎ニ必ズ何レノ日ニカ其問題ガ起ルコトナッテ、ツレバ甚ダ宜シク無イト考ヘタノデアリマス、然ラバ其期限ハ何年ト定ムベキカ、甚ダムツカシイコトデアリマス、假ニ二十年ト書イテ見タノデアリマスガ、ボロ長屋モ堅牢ナル煉瓦造リモ同一ノ期限トスルコトハ餘リ拘子定規ニ失シテ面白クナイデアリマス、要スルニ是等ノ點ヲ適當ニ定ムルコトハ甚ダ困難デアリマス、加之此際法律上ノ義務トシテ全國一般ノ地主ニ斯カル負擔ヲ命ズルコトハ立法上尙ホ大ニ攷究スベキ問題デアルト考ヘマス、ドウシテモ德義ニ委ヌルコトガ出來ナイマデノ必要ニハ未ダ迫ッテ居ナイカト思ヒマス、衆議院ニ提出セラレタ原案ニモ斯様ナル規定ハ無カッタノデアル、唯地震賣買ノ弊ヲ防グ爲ニ登記ナキ借地權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ト云フダケノ規定デアリマシタ、今日輕々ニ新奇ナル規定ヲ設ケテ一般經濟上ニ意外ノ影響ヲ來タス如キコトデアッテハナラヌト考ヘマス、故ニ長時間討論ノ末、我々ハ遂ニ斯ノ如キ規定ヲ置クコトニ決定スルニ至ラナシタノデアリマス、此際ハ單ニ地震賣買ニ對スル第一條ノ規定ヲ設ケル位ニ止メテ置ク方ガ安全デアラウト考ヘマシテ第二條ハ遂ニ全然削除スルコトニ一致シタノデアリマス、借地權ニ關シテハ尙ホ他ニモ攷究スベキ立法問題ガ多クアルコト思ヒマス故ニ、此事ハ宿題トシテ今後御互ニ研究スルコトニ致シタイト思ヒマス、若シ借地期間ノ短キニ乘ジテ不徳義ナルコトヲ働クヤウナ弊害ガ續々生ズルヤウナコトガアラバ、其時ニハ又適當ノ立法手段ヲ講ズルコトニ致セバ宜シイコトト思ヒマス、既ニ第二條ヲ削除スル以上ハ賃借借ノ期間ヲ定メナシタ場合ニ關スル第三條モ亦同一ノ理由ニ依ッテ當然削除ベキ規定デアルト考ヘマス、第四條ノ規定ハ善意ノ土地買得者ヲ保護スル爲ニ存置ク方ガ民法ノ規定トモ權衡ヲ得テ至當デアルト考ヘマス、故ニ此條文ハ第二條トシテ之ヲ存置スルコトニ

致シタノデアリマス、但シ同條中ノ「第一條第一項」トアルハ「前條第一項」ト改マラネバナラヌコトハ申上グルマデモ無イコトデアリマス、最後ニ附則ノ規定デアリマスガ、是ハ第二條及第三條ガ存スレバコソ其當否ハ暫ク別問題トシテ意義ヲ爲ス譯デアリマスガ、既ニ此二箇條ヲ削除スルコトニナリタイト思ヒマス、以上申述ベシマシテ理由ニ依ツテ我々及第三條ト共ニ削除スルコトニナリタイト思ヒマス、故ニ第二條理由ニ依ツテ我々ハ本案ノ第一條ト第四條ノミヲ存スルコトニ修正シテ可決ニナリタイト思ヒマス、何卒宜シク御審議アラムコトヲ希ヒマス、以上小委員會ノ經過ニ付キマシテハ尙ホ他ノ兩君ヨリモ御質問ニ應ジテ委シイ御説明ガアルコトト思ヒマス

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 唯今、富井君カラ三特別委員諸君ノ御審査ノ結果ヲ御報告ニナリマシタガ、之ニ付イテ御質問ガアレバ此際願ヒタイト思ヒマス、チヨット私カラ富井君サニ伺ヒタイノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り御存ジデアリマセウガ、明治三十三年ノ法律第七十二號地上權ニ關スル件ト云フ法律ガ出テ居リマシテ、其要旨ハ地上權ニ關スル法律ノ施行前ニ他人ノ土地ニ工作物等ヲ有スル者ハ地上權ヲ推定サレテ、其第二條一條ノ地上權者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年內ニ登記ヲ爲スニアラザレバ之ヲ以テ第三條ニ對抗スルコトヲ得ズ、斯ウ云フ三十三年法律七十二號ノ要旨デアリマスガ、此一條ハ或ル點ニ於テハ明治三十三年ノ法律七十二號ノ丁度反對ノ結果ニナル、即チ片一方ノ法律七十二號ニ依レバ、地上權者ト推定スル、併ナガラ第三條ニ對抗スルニハ登記ヲ爲スヲ要スル、併ナガラ今度ノ法律ガ若シ通過シマス、登記ナクシテ第三條ニ對抗スルコトヲ得ルトナルト、此法律第七十二號トハ、ドウ云フ關係ニナリマセウカ

○富井政章君 是ハ私モ政府委員ニ質問シタイト思ッテ居ッタコトデアリマスガ、或ハ此法律案ニ於テ唯今御示シナッタ法律トノ關係ヲ規定スルガ適當アルカモ知レスト思ヒマス、サウ云フ特別ノ規定ガ無イコトシテ私一個ノ見解ヲ申上グルバ、其地上權ト推定セラルル所ノ借地權ニシテ既ニ登記シテアレバ固ヨリ第三條ニ對抗スルコトガ出來ルデアリマスガ、今日未ダ登記シテ無イトスレバ、此法律ニ依ツテ建物ノ保存登記ヲ爲サバ借地期間內ダケハ第三條ニ對抗スルコトガ出來ルト云フ結果ニナラウト思ヒマス、固ヨリ第三條ガ既ニ自己ノ權利ヲ登記シテ居レバ其既得權ヲ害スルコトハ出來マセヌ、唯將來ニ向ツテハ此法律ノ適用ヲ受ケルコトニナルデアラウト考ヘマス、ソレデアリマスカラ此附則ヲ削リマシタ結果ハドウナルカト云ヘバ、此法律施行前ニ成立シテ居ル借地權ニシテ建物ノ保存登記ガ出來テ居レバ、此法律ノ適用ヲ受ケルコトニナルデアリマスガ、唯土地ノ賣買ガ此法律施行前ニ生ジテ居ッタトスレバ、其買主ノ權利ヲ害スルコトハ穩カデナカラウト考ヘマス、サウ云フヤウニ既往ニ遡ルコトニスレバ法律ノ力ヲ以テ出來ヌコトハ無イト思ヒマスケレドモ、ソレハ穩カデナイ、故ニ將來ノ買主ニミ對抗スルコトヲ得ルト云フコトニシタイト思フデアリマス、ソレハ何等ノ明文モ無ケレバ自然其結果ニナルデアラウト考ヘルデアリマス

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 序デニ伺ヒマスガ、政府委員ノ御解釋モ今ノ富井君ノ解釋通リト解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ富井君サニ御解釋通リガ至當デアラウト思ヒマ

ス
○木村誓太郎君 チヨット特別委員ノ諸君ニ伺ヒタイノハ、イロ／＼ト此第二條ニ代ハルベキモノヲ攻究シテ見タ、草案モ立デテ見タガ、何分移轉料又ハ幾分ノ賠償スルト云フヤウナコト、又ハ其家屋ヲ買收スルト云フコトハ金高ガ多クナル、且又建物二種ノ種類ガアルト云フ御話デゴザイマシタガ、其種類ハ價格評定ト云フコトデ良イモノト惡ルイモノト區別ハ付キマセウガ、サウ云フコトニシテハドウ云フ所ニ差支ガアルト云フコトヲ、チヨット御述ベニナッタヤウデアリマシタガ、確ト聽取レマセヌデシタカラ、ソコヲモウ一ツ伺ヒタウゴザイマス

○富井政章君 唯今御質問ニナリマシタ建物ノ買取又ハ移轉料ヲ請求スルコトヲ得ルト云フ規定ヲ設クルコトハ、唯第二條ノ場合ニ限ルコトデナクシテ、サウ云フ規定ガ必要デアレバ第一條ノ場合ニモ共通ノ規定トナラナケレバナラヌデアナカラウカ、少クモ私一人ノ考ヲ申上グルバ、第一條ニ規定シテアルヤウナ借地權ハ登記ナキモノヲ以テ第三條ニ對抗スルコトヲ得ルト云フヤウナコトハ止メニシテ、第一條第二條ノ場合ニ通ジテ相當ノ制限ノ下ニ今御述ベニナッタ規定ヲ設クルコトガ或ハ根本的ノ解決デアラウカト考ヘルデアリマス、併ナガラソレハ先刻モ申上ゲマシタ通り、先ヅ第一ニ其適用ノ範圍ヲ定ムルコトニ付イテ種々ノ困難ガアル一例ヲ示シタノデアリマスガ、其請求權ヲ行フニハ一定ノ期限ガナクテハナラヌ、三十年五十年ヲ經過シテモ請求ガ出來ルトシテハ穩カデナイ、然ルニ建物ノ種類構造ト云フモノハ種々様々デアリマスカラ、一定ノ期限ヲ設クルト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、總テ法律ノ規定ト云フモノハ何程カハ杓子定規ニナルコトヲ免レナイノデアリマスガ、唯今申シタヤウナ事柄ニ付イテ二十年トカ三十年トカ云フ畫一ノ期限ヲ設クルコトハ餘リ杓子定規ニ過ギテ各種ノ場合ノ間ニ權衡ヲ失スルコトニナラウト考ヘマシタノガ之ヲ設クルコトニ決心イタシマセナダ一ツノ理由デアリマス、今一ツノ理由ハ建物ヲ買取ルカ移轉料ヲ拂ハネバナラヌト云フコトハ土地所有者ニ取ツテハ随分重大ナル負擔デアリマス、ソレハ少數ノ惡地主ニ對シテハ必要デアルカモ知レマセヌケレドモ、法律上ノ義務トシテ斯ノ如キ過重ノ負擔ヲ總テノ地主ニ課スルト云フコトハ如何デアラウカ、今日多數ノ地主ト借地人ノ間ニ於テハ德義ト自由契約ニ依ツテサウ云フコトハ行ハレテ居ルデアルト思ヒマス、然ルニ法律ハ一般ノ地主ヲハ恰モ惡人ナル如クニ見テ、必ズ此義務ヲ負フモノデアルト云フヤウナ規定ヲ設クルコトハ果シテ得策デアラウカ、得策デアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレマデノ必要ニ迫ツテ居ナイカト考ヘマス、ソレ故ニ新規ナル規定ヲ設クルコトニ付イテハ餘ホド強力ナル理由ガ無クテハナラヌ、一日設ケタ後ハ之ヲ廢スルト云フコトハ困難デアリマス、將來ニ必要ガ愈々生ズルコトガアツタ場合ニハ何時ニテモ設クルコトガ出來ル、次ノ議會ニデモ設クルコトガ出來ナイ譯ハアリマセヌ、今日ハサウ云フ理由デ唯適用ノ範圍ヲ規定スルコトガ困難デアルト云フバカリデナイ、全國一般ノ地主ガ負擔スル法律上ノ義務トシテ唯今御質問ニナッタヤウナ規定ヲ設クルコトヲ至當ト認メルニ付イテ躊躇シタノデアリマス

○子爵入江爲守君 唯今富井君カラ色ミト小委員會ノ模様ヲ御述ベニナリマシタガ、種々御詮議ノ結果、第一條ヲ其儘存スルト云フコトデアリマシテ、ドウモ已ムヲ得ズ此ニ至ッタノデアリマセウケレドモ、地上權又ハ土地ノ賃貸借ハ其登記ガ無クテモ第三條ニ對

抗が出來ルコト云フ規定ハ民法ノ原則ニ非常ナ例外ニナルコトヲ餘リ好マシウナイコトト考ヘマス、小委員會ニ於テ若シ之ニ代ルベキ何カ修正案ヲ出タ所ガ少數ヲ潰レタト云フヤウナコトガアリマセウカ、若シアリトスレバ參考ノ爲ニ伺ヒタイ

○富井政章君 先刻ヨリ申上ゲマス通り之ニ代ルベキ二三ノ法案ヲ攷究シタノデアリマス、併シ我々ノ中デ或ル一人ガ主張シ他ノ一人ガ反對シテ遂ニ少數ニナッタト云フコトハナイノデアリマシテ、ドレモ皆熟議ヲ盡シマシテ、其結果何レノ方法ヲ採ルニシテモ缺點ガアル、理論上ハ暫ク別トシテ實際上ニ於テハ第一條ノ缺點ヨリモ遙ニ大ナル缺點ガアルト認メマシテ、熟議一致ノ末、何レモ採用セナシテデアリマシタ、ドノ修正案モ決フ採テ少數ヲ倒レタト云フコトハナイノデアリマス、第一條ハ唯今御説ノ通り理論上ヨリ言ヘバ甚ダ面白クナイ規定デアリマス、ドレモ、地震賣買ガ生ジテモ、差支ナイト云フコトデアレバ別段デアリマスガ、其弊害ヲバ少クモ或ル程度マデニモ防ガウト云フナラバ、何カ此際相當ノ方法ヲ設クルコトガ必要デアラウト云フ點ニ於テ我々ハ全然一致シタノデアリマス、ソレ故ニ熟議ノ末、理論上面白クナイコトハ何所マデモ認メマスケレドモ、先ヅ第一條ヲ存スルガ實際缺點ガ最少クシテ穩當デアルト云フコトニ歸着シタノデアリマス、ソレ尙ホ一言附加ヘマスガ、第一條ニ代ルベキ案トシテ一ツ書イテ見マシタ修正案ハ先刻申上ゲタコトデアリマスガ「地上權又ハ土地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得」ト云フコトヲ止メテ「登記ナキモ第三者ハ時價ヲ以テ其ノ建物ヲ買取り又ハ相當ノ移轉料ヲ拂フニアラサレハ之ニ對シテ土地ノ明渡ヲ請求スルコトヲ得」スウ云フ規定ヲ置クコトニ付イテ協議シテ見タノデアリマス、併シ斯クスレバ表面上登記シテナイ借地權ガ第三者ニ對抗セラルト云フコトハ無イコトニナリマスケレドモ、實際ニ於テハ矢張り一種ノ對抗デアッテ、タゞ地震賣買ノ弊ヲ矯ムル策トシテハ間接デアアル、直接ノ手段デアイト云フダケノコトニナルデアリマス、ソレカラ最モ躊躇イタシマシタ理由ハ、斯ノ如キ規定ヲ設クルトスレバ、土地所有者ガ變ツタ場合ニ第二取得者ニ對シテノミ設クベキ規定デハナクシテ、第一條第二條ノ場合ニ共通ノ規定トシテ考ヘネバナラヌト云フノデ之ヲ置クコトニ躊躇シタノデアリマス、尤モ第一條第二條ノ場合ニ共通ト申シテモ、第二取得者ニ對シテハ矢張り建物ノ保存登記ガ無クテハナラヌト云フダケノ差異ハ認メナケレバナラヌカモ知レマセウガ、若シ共通ノ規定ト致スコトニナレバ、先キホド木村君ノ御質問ニ對スル答辯トシテ申上ゲタ如ク一ツノ困難ニ遭遇スルノデアリマス、其一ツハ適用ノ範圍ヲ公平ニ規定スルコトガ甚ダムツカシイ、今一ツハ斯クノ如キ重大ナル負擔ヲ法律上ノ義務トシテ一切ノ土地所有者ニ課スルコト云フコトハ、立法者ニ取ッテハ非常ナ責任デアリマス、ソレデ是ハ今少シ攷究シタ後ニ決定スベキ宿題トシテ置イタ方ガ宜クハナカラウカト云フ考ヘデ、其修正案モ遂ニ之ヲ採用スル勇氣ヲ持タナシタノデアリマス

○子爵入江爲守君

唯今、富井君カラ小委員會ノ模様ヲ御報告ニナリマシタ、即チ第一條ト第四條ヲ存シテ其他ハ削除スルコト云フコトニ歸着シタヤウニ承リマス、法律ニ明カナ諸君ガ御協議ノ上、斯ク御決定ニナッタノデアリマスカラ、此時弊ヲ矯メルニハ色々御配慮ニナッタコト、思ヒマスルデ、今日ノ所ハ先ヅ御質問ヲ致スコトニ止メテ、討論ハ或ル時間ヲ置イテ更ニ御開場ニナラムコトヲ希望イタシマス

○富井政章君 今日採決ヲセナイト云フコトニハ別ニ異存ハアリマセウ、先刻申上ゲマシタコトニ付イテ尙ホ一言附加ヘテ諸君ノ御考ヘヲ煩ハシタイト思ヒマス、我々ハ今日斯ノ如キ法律案ガ出タ以上ハ全然之ヲ否決スルコト云フコトハ穩當デナイ、何カ今日ノ時弊ヲ矯ムル爲ニ規定ヲ置クコトガ必要デアルト云フコトニ付イテハ全ク一致シタノデアリマス、ソレデ成ルベク此原案ニ近イ修正案ヲ立ツルコトニ付イテ先刻申上ゲマシタ通り種々攷究イタシタノデアリマスガ、ドレモ種々ノ困難ガアッテ決定スルニ至リマセナシタ、サウシテ長時間熟議ノ末、第一條ト第四條トノミヲ存スルコトニ決シタノデアリマス、併シ是ハ我々ノ確信ト云フホドノ程度ニ進シタコトハナイノデアリマス、實質上ノ問題トシテハ我々各々非常ナル困難ヲ感ズルノデアリマシテ、實ハドウ云フ趣意ニ規定スレバ最モ適當デアラルコト云フコトニ付イテハ、尙ホ諸君ノ御考ヘヲ十分ニ承リタイト思フノデアリマス、例ヘバ第一條ト第四條トノミヲ存スルヨリモ今少シク手ヲ擴ゲテ第一條ト第二條ノ場合ニ共通ノ規定トシテ、先刻申上ゲタヤウナ借地期間ノ満了ニ際シテ、地主ガ期間ヲ更新スルコトヲ承諾セナイトキハ其建物ヲ買取ルカ、又ハ相當ノ立退料ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ規定ヲ設クルガ宜シイト云フ御意見デアレバ我々ハ強ヒテツレニ反對スル考デナイノデアリマス、其實質上ノ問題、即チドウ云フ案ニスルカト云フコトニ付イテハ、十分御考ヲ願ヒタイノデ、我々ハ實ハ確信ト云フ程ノ意見ハ無イノデアリマス、今マデニ申上ゲタヤウナ修正案ハ、何レモ我々ニ於テモ必シモ不適當ト認メテ居ルノデアリマシタ、諸君ガサウ云フコトニスルガ宜イト云フ御考デアレバ、我々ハ別段異議ハ無イノデアリマス、多數ノ御意見ニ基イテ修正案ヲ作ルコトハ、喜ンデ試ミマシテ宜シイノデアリマス

○木村誓太郎君

私モ唯今富井君ノ御述ベノ通り、何トカ此案ヲ修正シテ、成立ハサセタイモノデアルト云フ考ハ持ッテ居リマス、第二條第三條ニ代ルベキモノハ、段々先刻來ノ御説明ニ依リマシテ、適當ノ考モ唯今デハナイ、是ハマア追ッテ宿題トシテ延バシテ置カウト云フコトモ御尤ト考ヘマス、併ナガラ萬一此全部……第一條ヲモ延バシテ置クト云フヤウナコトニナリマスル、謂ハル此地震賣買ナルモノガ、明年ニナッタラバ、又ドウ云フ法律案ガ出來ルカモ知レヌデ、今ノ中ニ十分ヤレト云フヤウナコトデ、益々此弊害ガ急激ニ來ラウト云フ虞ガアリマスカラ、假令第一條ダケモ存シテ此弊害ヲ防グコトニシタ方ガ私ハ宜カラウト思ヒマス、一應意見ヲ述ベマス

○子爵入江爲守君

私ノ討論ヲ少シ御猶豫ヲ願ツタノハ、決シテ之ヲ握潰ストカ成立タサヌヤウニスルコト云フヤウナ趣意デハナイノデ、唯今小委員會ノ模様ヲ承ハッテ直グニ茲デ即決スルコト云フコトハ如何デアラウカ、少シク考慮スル時間ヲ與ヘテ戴キタイト云フ趣意ヲ以テ、今日ノ所ハ討論ニ入ルコトハ暫ク御見合セヲ願ヒタイト云フ希望ヲ述ベタノデアリマス、一應……

○子爵新莊直陳君

入江君ニ賛成イタシマス

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 如何デモウ、入江子爵カラ今日ハ特別委員ヨリ御修正ノ報告ヲ承ハッタニ依ッテ少シ考慮スル餘裕ヲ與フルタメ、討論及決議ハ兩三日ヲ經テ成ルベク近イ中ニ再ビ開會シタイト云フ御發議ガアッテ、御賛成モアリマシタ、御異

議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○富井政章君 異議ハアリマセヌガ、延期ハ無期限デアリマスカ

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 私委員長ノ考デチヨット申上ゲマス、今日御修正ノ御報告ヲ得マシタニ依ツテ、明日若クハ明後日ニ於テ、一日間ホド期シテ開會スルト云フコトデ如何デセウカ、之ヲ無限ニ延期スルト云フ意味デナク、凡ソ一日間ホドノ餘地ヲ存シテ直グニ開會シテ討論ノ上、決スルト云フ……

○富井政章君 ツレナラハ異議ハアリマセヌ

○石渡敏一君 今、入江君ノ御説デアリマスガ、今幾ラカ延期シヤウト云フノデ、其時間ハ二日デ宜シウゴザイマセウカ、或ハモウ少シアッタ方が宜シウゴザイマセウカ

○子爵入江爲守君 唯今實ハ申上ゲタノハ、矢張り私モ此御修正案通りデ宜イカ、又幾ラカ加ヘルカ、其邊ハマア熟慮セニヤナリマセヌガ、兎ニ角何カ一ツ案ヲ作ッテ時弊ヲ矯メタイト云フコトハ御同感デアリマス、唯直グニ茲デ即決スルコトヲ延期シテ、幾ラカ時間ヲ與ヘテ熟慮ヲ致シタイト云フダケノコトデアリマス、短イ時間デ一向差支ナイノデアリマス、唯今委員長ノ御話ニナツタ通り、一日若クハ二日グラ井ノコトデ十分デアラウト思ヒマス

○石渡敏一君 私ハ異議ハアリマセヌ

○委員長(伯爵廣澤金次郎君) 御異議ナケレバサウ云フコトニ決シテ、今日ハ委員會ハ是デ散會イタシマスガ、尙ホ御殘リニナツテ御協議ハ御隨意ト云フコトニ……

午後二時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵廣澤金次郎君

委員

子爵新莊 直陳君 子爵入江 爲守君

男爵藤大路親春君 富井 政章君

高木 豐三君 木村誓太郎君

國務大臣

司法大臣 子爵岡部 長職君

政府委員

司法省民刑局長 平沼騏一郎君

男爵青山 元君

石渡 敏一君